

<血液内科>

一般（教育）目標

血液疾患（造血器腫瘍と非腫瘍性血液疾患）の患者の診療を通して、診断から治療(化学療法や造血幹細胞移植を含む)に至る基本的な診療の流れを理解するとともに、基本的な患者管理（輸血療法、感染症治療、緩和治療を含む）を習得する。移植や合併症などで長期的な入院を要する症例も多く、全身状態の維持・改善のための積極的なリハビリテーションによる介入の重要性も学ぶ。

（具体的）行動目標

- (1) 血液疾患の患者の病歴・身体所見の把握と、記載ができる。
担当する代表的な疾患は、急性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病、骨髄異形成症候群、非ホジキンリンパ腫、ホジキンリンパ腫、多発性骨髄腫、再生不良性貧血、各種の原因による貧血、特発性血小板減少性紫斑病などである
- (2) 血液疾患の患者に対して適切なタイミングでの輸血が行える
- (3) 好中球減少期の患者管理（感染症予防、G-CSF 投与、発熱性好中球減少症に対する感染症治療）が行える
- (4) 栄養管理、水・電解質管理など基本的な全身管理が行える
- (5) 化学療法の方法と副作用を理解し、それに対する予防と管理が行える
- (6) 骨髄穿刺、腰椎穿刺を行うことができ、基本的な結果解釈ができる
- (7) 造血幹細胞移植のベネフィットとリスクを理解し、造血幹細胞移植の適応に至る考え方が説明できる
- (8) 患者・家族に対するインフォームドコンセントに参加し、病名・病状告知にあたっての配慮ができる

学習方略(1)

- (1) 指導医・上級医の指導のもと、10～15人程度の入院患者の診療を担当する
- (2) 指導医・上級医の指導のもと担当患者の各種検査（骨髄穿刺、腰椎穿刺）等を実施する
- (3) チャート回診において担当患者の症例提示を行う

学習方略(2) 勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 新患カンファレンスで担当患者の提示を行う
- (2) 臨床的意義のある症例や病態に関して、指導医・上級医の指導のもとまとめ、学会等にて発表する

週間予定（例）※他に他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
午前	病棟業務	病棟業務	8:00-9:30 部長回診 病棟業務	病棟業務	病棟業務
午後	病棟業務	13:30～15:00 チャート回診 15:00～15:30 多職種カンファレンス (2・4週) 病棟業務	病棟業務	病棟業務	15:00～16:00 新患カンファレンス 病棟業務

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること